

社

評価書(二次審査)

No.	項目	審査基準	配点・採点	評価点
1	プレゼンテーション	提案内容は、本業務の目的および国・自治体の方針を十分に理解した上で、仕様書の内容を的確に反映したものとなっているか。	5・4・3・2・1	
		プレゼンテーションの内容は分かりやすく構成されているか。また、質疑応答における受け答えは適切かつ的確であるか。	5・4・3・2・1	
2	個別伴走支援	個別伴走支援の態様や頻度は、対象事業所の多くがデジタル機器の導入や活用に不慣れであることを踏まえ、効果的なアプローチ方法となっているか。	10・8・6・4・2	
		個別伴走支援にあたる担当者のうち、ICTの知識・スキルを有する介護支援専門員(ケアマネジャー)かつ現役の介護従事者である者の割合はどの程度か。	10・8・6・4・2	
		80%以上		
		60%以上80%未満		
		40%以上60%未満		
		20%以上40%未満		
		20%未満	2点	
		提案内容は、現実的かつ実行可能なものとなっているか。	5・4・3・2・1	
3	セミナー	セミナーの内容および開催方法は、対象事業所の多くがデジタル機器の導入や活用に不慣れであることを踏まえ、わかりやすく、かつ、多くの事業者が参加しやすいよう工夫されたものとなっているか。	5・4・3・2・1	
4	ヒアリング調査	ヒアリング調査の内容は、他の対象事業所への横展開に有効な手法となっているか。	5・4・3・2・1	
5	サポートデスク	サポートデスクで提供できるサービスについて、対応時間や回線数を含め、対象事業所からの問い合わせに十分対応できる体制が整っているか。	10・8・6・4・2	
6	情報提供	介護情報基盤統合後の円滑な活用に向け、ケアプランデータ連携システムに関する手続きや通知等を整理・収集し、対象事業所に分かりやすく情報提供する工夫が見られるか	10・8・6・4・2	
7	業務実施体制	業務実施計画および全体スケジュールは、個別伴走支援、ヒアリング調査、業務報告書の作成など、業務委託完了までの一連の業務を見据えた内容となっているか。	5・4・3・2・1	
		業務責任者は十分な知識・経験を有しているか。	5・4・3・2・1	
8	提案金額	契約上限額との差額が20%以上	5点	5・4・3・2・1・0
		契約上限額との差額が15%以上20%未満	4点	
		契約上限額との差額が10%以上15%未満	3点	
		契約上限額との差額が5%以上10%未満	2点	
		契約上限額との差額が5%未満	1点	
		積算に根拠がない	0点	
9	業務実績	過去3年間(令和5年4月から令和8年3月まで)において、官公庁等発注の類似業務※の受注実績があるか。		10・8・6・4・2・0
		30件以上	10点	
		20件以上	8点	
		10件以上	6点	
		5件以上	4点	
		5件未満	2点	
10	自己資本比率	0件	0点	5・4・3・2・1・0
		50%以上	5点	
		40%以上50%未満	4点	
		30%以上40%未満	3点	
		20%以上30%未満	2点	
		10%以上20%未満	1点	
11	営業拠点の所在地	10%未満	0点	5・3・0
		区内に本店がある	5点	
		区内に支店がある	3点	
		区内に会社がない	0点	

※類似業務とは、ケアプランデータ連携システム普及促進を図り、介護事業所における生産性向上の取組を推進する事業を指す。

合計(満点 100点)	
-------------	--

※重要度の順位は、2>9>6>5>3>1>4>7>10>8>11とする。

※合計点が同点の場合は、重要度の高い項目の評価点が高い順に順位とする。